

## ネットワーク利用で WiseImage 起動時にエラーが表示される！

ネットワークライセンスで WiseImage を利用していたが・・・

「下記メッセージ表示で起動出来なくなった！」



メッセージ表示内容

### メッセージ表示の要因

上記メッセージ表示された場合は主に下記の要因が考えられます。

- 1) 利用ライセンス数をオーバーした場合  
→ 利用者を確認し、WiseImage を起動確認します。また、利用ライセンスの確認は下記「ライセンス利用の確認方法」を参考ください。
- 2) ネットワーク管理ツールのサービスが何らかの原因でストップした場合  
→ ハードウェア認証キーが装着されている PC を【確認内容】以降の手順で確認します。

### 【確認内容】

文中では・・・

ハードウェア認証キーを装着している PC を “サーバー”  
WiseImage インストール PC を “クライアント”  
ハードウェア認証キーを “認証キー”

と表記します。

- 1) サーバーに認証キーが装着されているか？ 認証キーの脱着行為を行っていないか？  
→ 外れていたら認証キーを装着し、脱着した場合は資料の【操作の流れ】でサービスの「再スタート」を実施します。
- 2) サーバーの電源が OFF になっていないか？ PC が休止状態、スリープ、ログオフなどでサービスが停止になっていないか？  
→ 電源が OFF の場合は PC の電源を入れ WiseImage の動作を確認します。休止状態、スリープ、ログオフ状態になっていた場合は解除し、下記【操作の流れ】のサービスの「再スタート」を実施します。
- 3) クライアントからサーバーに “PING” が通っているか？  
→ セキュリティ・ウィルス対策ソフトでサーバーにて Ping 通信の制限をかけた場合は制限を解除します。  
→ 非開通表示の場合は、御社内にてネットワーク調整いただき PING を開通させます。

```
c:\>ping 192.168.0.1
192.168.0.1 に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
192.168.0.1 からの応答: バイト数 =32 時間 =12ms TTL=255
192.168.0.1 からの応答: バイト数 =32 時間 =3ms TTL=255
192.168.0.1 からの応答: バイト数 =32 時間 =8ms TTL=255
192.168.0.1 からの応答: バイト数 =32 時間 =5ms TTL=255

192.168.0.1 の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4、受信 = 4、損失 = 0 (0% の損失)、
ラウンド トリップの概算時間 (ミリ秒):
    最小 = 3ms、最大 = 12ms、平均 = 7ms
c:\>
```

Ping 開通表示例

```
c:\>ping 192.198.0.5
192.198.0.5 に ping を送信しています 32 バイトのデータ:
要求がタイムアウトしました。
要求がタイムアウトしました。
要求がタイムアウトしました。
要求がタイムアウトしました。

192.198.0.5 の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4、受信 = 0、損失 = 4 (100% の損失)、
c:\>
```

Ping 非開通表示例

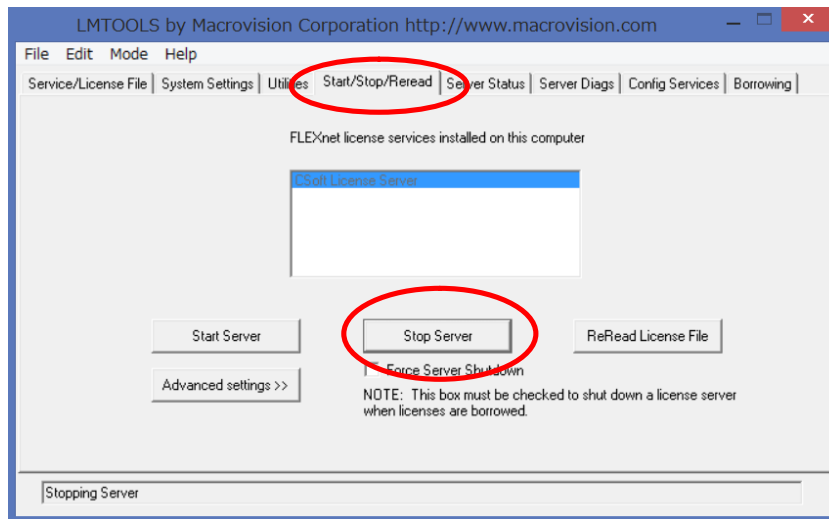
1)、2)、3)に問題が無く WiseImage が起動しない場合は【操作の流れ】の作業をお願いします。

## 【操作の流れ】

- 1) サーバーPCにてサービスを「停止」
- 2) サーバーPCにてサービスの「再スタート」
- 3) WiseImage の起動確認

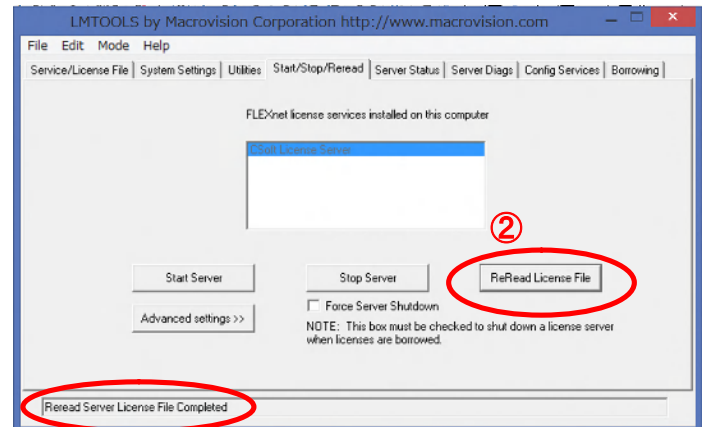
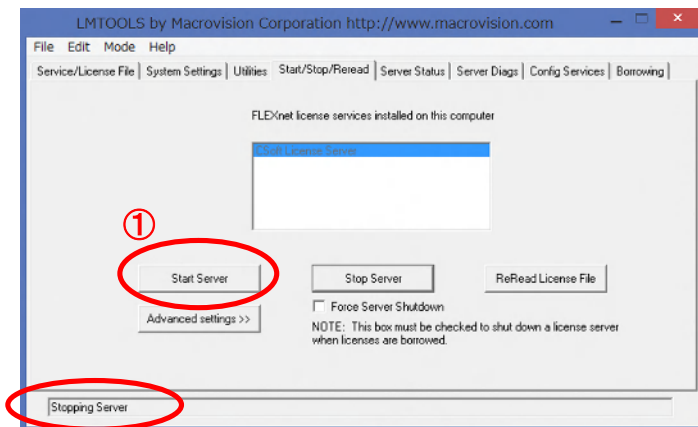
### 1. サービスの停止

C:\Program Files(x86)\Csoft(もしくは Consistent Software)\CS License Server\Lmtools.exe を“管理者として実行”します。“Start/Stop/Reread”のタグをクリックし、【Stop Server】のボタンを押します



### 2. サービスの再スタート

- ①【Start Server】のボタンを押し、画面左下に<Server Start Successful>と表示します。次に②【ReRead License File】のボタンを押し画面左下に<Reread Server Liense File Completed>と表示されたらサービスが再スタートします。



設定確認後、 でツールを閉じます。

### 3. クライアントにて WiseImage を起動、確認してください。

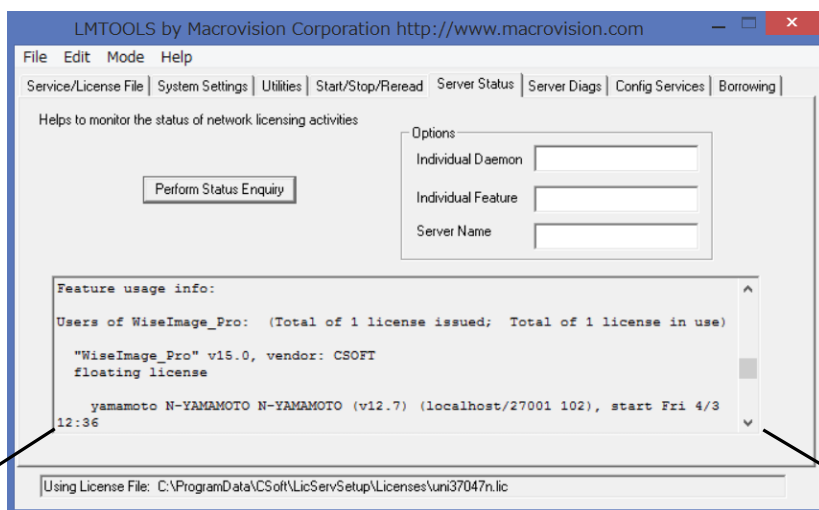
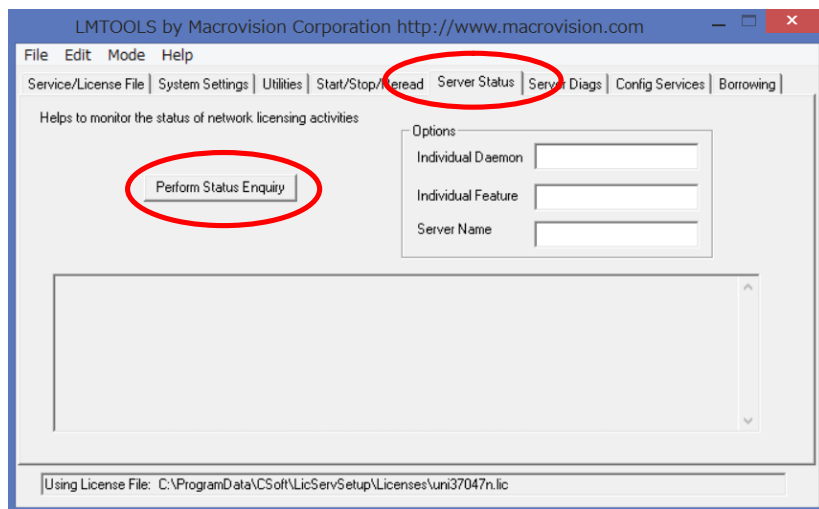
※起動しなかった場合は再度、【Stop Server】→【Start Server】を実施して確認してください。

WiseImage の動作の確認が取れたら作業は終了です。

## 『ライセンス利用の確認方法』

ネットワークライセンスが「利用されている・いない」の確認はサーバーPCにて確認します。

C:\Program Files(x86)\Csoft(もしくは Consistent Software)\CS License Server\Lmtools.exeを“管理者として実行”します。“Server Status”タグをクリックし【Perform Status Enquiry】



```
Feature usage info:  
Users of WiseImage_Pro: (Total of 1 license issued; Total of 1 license in use)  
"WiseImage_Pro" v15.0, vendor: CSOFT  
floating license  
yamamoto N-YAMAMOTO N-YAMAMOTO (v12.7) (localhost/27001 102), start Fri 4/3  
12:36
```

(利用ログイン名 PC名)

(利用可能ライセンス数)

(利用中ライセンス数表示)

```
CSOFT: UP v11.5  
Feature usage info:  
Users of WiseImage_Pro: (Total of 1 license issued; Total of 0 licenses in use)
```

ライセンスが利用されていない場合の表示